

令和5年 お茶づくり技術情報 (No.3)

2023年3月29日
佐賀県茶業技術協会
佐賀県茶業試験場

1. 気象と生育

1) 一番茶の萌芽

- (1) 茶業試験場内の作況調査園（定点調査園、品種：やぶきた）において、3月27日に一番茶の萌芽を確認した。本年の萌芽期は、前年（3月30日）より3日早く、前5か年平均（3月29日）より2日早かった。
- (2) 茶業試験場内のさえみどり（慣行栽培園）では、3月27日時点で約1～1.5葉期である。



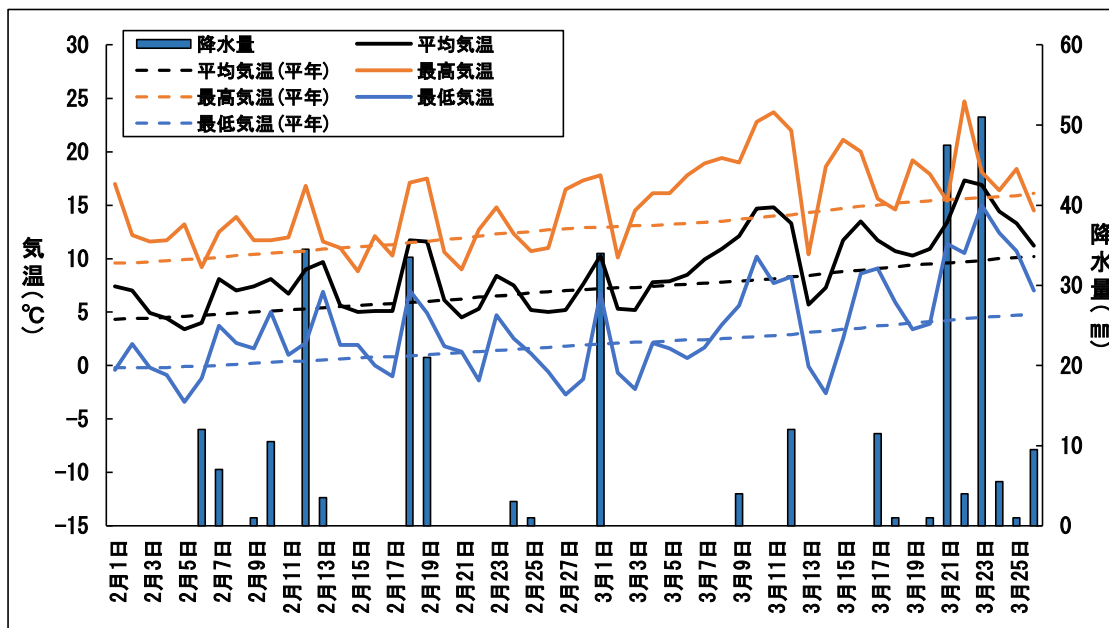
写真1 『やぶきた』の一番茶芽



写真2 『さえみどり』の一番茶芽

(撮影：2023年3月27日)

2) これまでの気象（2月上旬～3月下旬、嬉野）



- (1) 2～3月の気温は、2月下旬を除いて平年より高かった。
- (2) 降水量は、2月上旬から中旬は平年より多く、2月下旬から3月下旬は平年より少なかった。

3) 今後の気象の見通し

■ 2週間気温予報 (気象庁、令和5年3月27日発表)



- (1) 3月28日から4月5日までの最高気温は、平年より高くなる可能性が高いと予想され、その後は平年並とされている。
- (2) 3月31日から4月6日までの最低気温は、平年より高くなる可能性が高いと予想され、その前後は平年並とされている。

■ 1か月予報 (気象庁、令和5年3月23日発表)

1か月予報 (2023年03月23日発表) の解説 福岡管区気象台

向こう1か月の天候の見通し
九州北部地方 (山口県含む) (03/25~04/24)

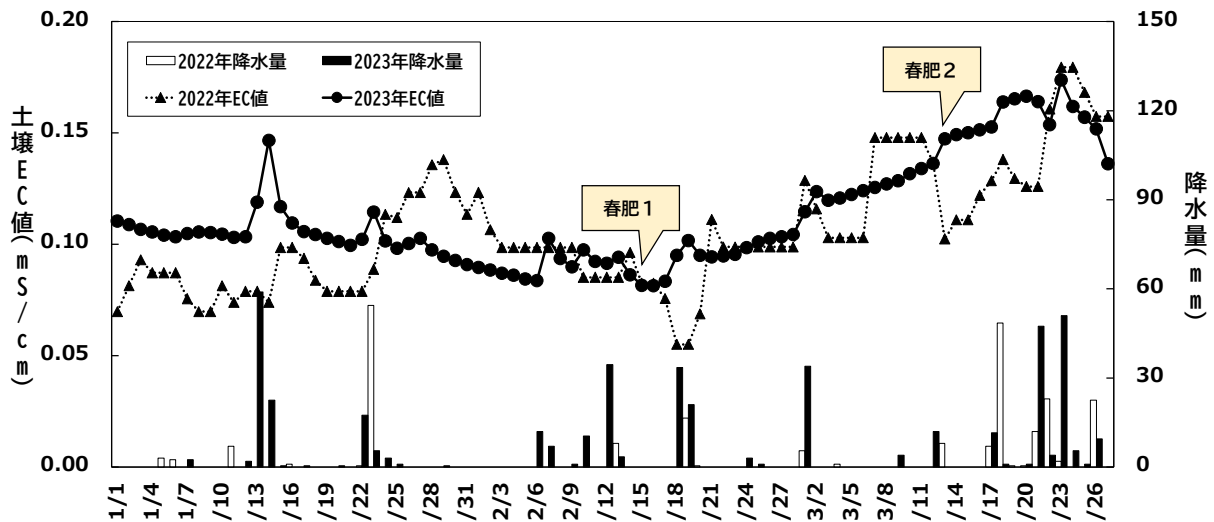
	平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
九州北部地方 (山口県含む)	低10 並20 高70% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み

- (1) 今後1か月の平均気温は、暖かい空気に覆われやすいため、特に期間のはじめはかなり高くなる見込み。
- (2) 今後1か月の降水量および日照時間は、ほぼ平年並となる見込み。

※最新の気象情報は、気象庁 HP の『2週間気温予報』や『季節予報』をチェック!

2. 今後の管理

1) 施肥管理



注) 本年の土壌 EC 値は、雨落ち部の深さ 25 cm 部分に埋設した土壌センサーにて測定し、実測値に基づき推定した値を示す

- (1) 土壌 EC は、春肥 2 施用後に徐々に上昇しており、3 月 21 日～23 日の降雨で上昇したものの、その後低下している。
- (2) 芽出肥は一番茶摘採の 30～40 日前を基本とし、施肥後は土壌と混和する。
- (3) 分施する場合は最終施肥として速効性肥料（硫酸など）を摘採 14 日前頃（2 葉期）に行う。

2) 被覆

- (1) 資材は、遮光率 70%程度で、穴・汚れ・異臭のないものを使用する。
- (2) 被覆開始は、新芽の葉数や生育速度を考慮し、摘採時期より判断する。基本は 2.5～3.0 葉期とし、被覆期間は 10 日間程度とする。極端な若芽への被覆は減収につながるため避ける。また、高温等で生育が進む場合には早めの被覆を心掛ける。
- (3) 直前の気象条件により新芽生育は異なるため、気象庁の 2 週間気温予報の確認、茶園巡回で芽の観察をこまめに行うなど、適期の被覆開始となるように心がける。
- (3) 被覆後は、風による煽りや擦れによる葉傷みが発生しないように、資材の固定を確実にを行う。
- (4) 被覆資材の除去は、摘採当日の早朝が望ましく、新芽がなるべく日光にあたる時間を少なくし、色戻りを避ける。除去時は上に持ち上げるように外し、葉を傷めないようにする。

3) 病害虫対策

病害虫防除の詳細については、『令和 5 年度佐賀県施肥・病害虫防除・雑草防除のてびき』を参照してください。

URL : <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00388683/index.html>

